

みんなの「なんな一の?」を伝えるこども記者のための新聞(毎月1回発行)

信毎こども記者ニュース

こども記者クラブ(信濃毎日新聞地域活動部) 〒380-8546 長野市南県町657
TEL 026-236-3110 FAX 026-236-3193 電子メール t-chiiki@shinmai.co.jp

no.36

心をこめる水引

紙でできているのに、紙じゃないみたい! 信毎こども記者クラブは12日、飯田市で、取材教室「たんけん 信濃のわざ 水引編」を開きました。水引は、紙をねじった細いひもにのりや色を付けてあり、お祝いなどを包むひくろに結んで相手への心をこめる、日本の伝統です。飯田水引協同組合のみなさんを先生に、水引のもとを作る工場や、水引を使ってツルを作るブローの技を取材し、あわじ結びにもチャレンジしました。



大きなロール紙を、こよりにするはまに切るところ



正木太陽記者
(飯田市4年)



紙なのにひっぱっても切れない!

紙が水引になるのがすごいと思いましたが、水引の工げい品は、細いひもにのりや色を付けてあり、お祝いなどを包むひくろに結んで相手への心をこめる、日本の伝統です。飯田水引協同組合のみなさんを先生に、水引のもとを作る工場や、水引を使ってツルを作るブローの技を取材し、あわじ結びにもチャレンジしました。

江崎真央記者
(飯田市4年)

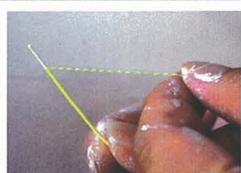


あわじ結びにも中

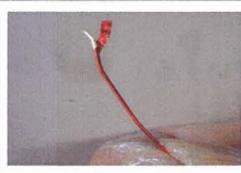
あわじ結びは、結びのきそです。ふだんの生活では使わないので、さいしよはゆりにくく、むずかしかったです。だんだんとできるようになって、とっても楽しくなり、各人のようになりすまらざるようになるまででした。家でも自分でためたりしながらいろいろな水引を作っていました。



紙がねじってあるのが分かるかな?



糸をまいてあるよ



テープをまいた水引

阿部圭太郎記者
(長野市3年)



ちょんまげにも使われるんだ

水引は、おいわいのお金を入れるらんくろに付いているかざりです。ツルや舟、松など、水引を使った大きな作品、ちょんまげを止める元結もあって、おどろきました。ほくのおばあちゃんは、冬のことので水引の内しよくをやってたそうです。「細かいしこで大変だった」と書いています。水引はきれいなだけではない、いろいろな人たちが、てまひまをかけて作っているんだと分かりました。

飯野晶記者
(飯田市4年)



はり金みたいでびっくり!

水引は、一番びっくりしたことは、水引は、はり金が入っていないのに、かんたんに曲がるし、くちやくちやにならぬことです。野尻村水引店の工場では、テープ状にした紙も円に見えるくらいの速度で回転させてよって、糸のようになっています。私は、紙を強くよったから、はり金が入っていたり、くちやくちやにならぬかと考えました。

小嶋明代記者
(飯田市4年)



昔の人は全部手作業

水引を作るには、大きなトイレットペーパーのような筒にまいた紙を、はは23ミにかいッします。その紙をきいてくるるる回してねじってこよりにします。こよりにきかいて糸やテープをまいたり、手作業でのりや色を付け、いろいろな水引を作ります。手作業の場合、1本をかんせいさせると半日もかかりません。昔の人は、全部手作業でやっていたので、すごいなあと思いました。



飯田水引協同組合
講師のみなさんから

◆大きくなって長野県を出ても、飯田にこういう産業があることを心にためてPRしてもらえたらうれしいです。
◆お話を聞いてくれてありがとうございます。結婚する時は、結納品を作ってくださいね。
◆体験でやったあわじ結びは、水引の結びのきそ。毎日1個作って、せみマスターしてください。